



### 終りが次の世代の 始まりになるように

我が町、瀬戸内海上島町。離島同志の合併で誕生した。

この三島は橋でつながっている。あと十年ほどすれば生名島と岩城島が橋でつながる。いけば人口の少ない魚島(含高井神島)は、架橋の可能性は無いが、かつて離島である強みを活かし、合併前は様々な先進的取り組みで異彩を放ってきた。今はどうか? 合併して橋が架かって、地域力が強化されたかといえ、どうだろうか?

便利さが地域社会を壊してゆくなどと言え、言い過ぎだろうか。現代社会を見るに、科学技術の進歩が人間にとって百%よいかと問われれば、ためらいなく「よし」と言いくいところ忌まざるべきが募ります。

#### 行政の隙間を埋めるNPO

人口七千四百人(うち外国人比率約四%)ほどのこの町に、昨年度までに九つものNPO法人があった。しかし昨年度末までに、十年にわたる活動的だった二つのNPOが相次いで解散した。いずれも弓削島にある「ゆげ夢ランドの会」「グリーンキャンドウ」という法人である。

#### ゆげ夢ランドの会は平成十七年七月設立。

「弓削島・佐島の自然環境並びにそこに住む人々の生活環境を浄化することを至近の目的とするが、将来的には上島町全域、ひいては瀬戸内海全域に眼を向けた活動に取り組むものとする。具体的には、バイオ浄化の方法である有用微生物群EM菌を活用して活性液やボカシを製作し、汚染された海浜や河川等に散布することにより環境浄化を促進する事業。ま

### 地域の環境保全力は、地域力の証

## 故郷保全活動と多くの賛同者達

た家庭生活に活用することにより、環境汚染の防止と生活環境の向上に寄与する事業の展開をする。かかる活動を継続することにより、次代を担う子供達によりよい環境を遺すことを最終的な目的とする。

グリーンキャンドウは平成十八年十月の法人設立。「地域社会に対して、緑化推進を図る諸事業を行いながら、緑を大切にすることを育て、地域住民が自然と親しみ、お互いに親睦を深め、心身の健全を促進し、安心・安全で豊かな社会生活を営める一助となることを目的とする。」

ふなやんへの思いはつよつよ

右は、法人定款に記載された目的の引用だから表現は硬いが、要するに両方とも、かつて自分たちが生まれ育った島の、豊かだった環境を取り戻したい心の発露であったと理解している。

#### 【写真説明】

←濱村 隆さん ↓村瀬 忍さん



これらの呼びかけは地域の人々の琴線に触れ、多くの賛同者を得た。住民の誰もが、島の環境の劣化に気付き、心を痛めていたからであろう。

ゆげ夢ランドの会は海にアサリを呼び戻すのをめざし、ヘドロ化していた海浜の浄化に取り組みながら町内各地への材料提供、小学校等へ出前環境教育、グリーンキャンドウは、松枯れに全滅が危惧された「法王力原」の松林の保全と育成を目指しつつ、これまた小中学校等の記念植樹を通じて出前環境教育以来、活動十年余。海浜に自然のアサリが戻ったとの話しはまだ聞かないが、いずこの海岸も、ヘドロが無くなり悪臭も消えた。

法王力原の松枯れも、一進一退を繰り返しながらも、まずは保全されていると言って良いだろう。

解散劇の意味するもの

この二つの活動、成功裏に継

続されるかと思っていた矢先の解散劇であった。理由はメンバーの高齢化と後継者難。NPOの性格上、目的に対する会員の思いの共有が求められ、また環境保全は一人や二人が担いられるものでもない。地域ぐるみ、行政ぐるみで取り組み、持続してこそできるもの。そうはいっても、人口の少ないことは担い手が少ないこと。活動する人はみんな複数の活動に身を置いているのが実情だ。

次の十年、この島の環境はどうなる?、おれらがやる。それが狭気というものは誰の心にも棲んでいる。誰がそれを引き出すか、だろう。

#### 青木喜代子

統一選挙。私の住む町の県議選は無投票当選。投票入場券の送付すらなかった。突然候補者が出たらどうするの?

聞くともなしに手続があるらしい。そのひとつ、選挙の種類により定められた供託金を法務局に供託する。供託金っていくら? え、衆参比例で600万、選挙区で300万、知事

300万、指定都市の長240万、以外の長100万、議員30万、供託金没収点をクリアしたら落選でも返金・・・しかし600万には驚いた。

た村瀬忍さんと、その仲間たち。グリーンキャンドウを立ち上げ、事務方で引張ってきた濱村隆さんとその仲間たち。「お疲れ様でした!。ありがとうございます!」と申し上げたい。そして、この終わりが、次の世代に見詰められる背中であってほしいことも!

#### 第十九回

### 因島自由大学

・どなたでも自由に参加できます  
 ・学費は二千円・当日受け付け可



講師 大阪大学名誉教授  
 加地伸行  
 日本人と先祖供養

15年6月13日(土)午後2時~4時  
 芸予文化情報センター

〒772-2324 高知県因島市田原町1373  
 電話0845-22-1687  
 http://www.jiyuudai.ac.jp



#### 青木喜代子

一票差で没収されたら泣きそう。こっからは私の懐のお話しね。20年近くも前の選挙はとつてもどかで、告示日には朝から陣中見舞いのお酒の注文が

多かった。当選祝いの四斗樽も早々に注文をもらい「大丈夫?」と気をもんだ。とうとう何期目かに不幸にも落選。でも返品不可。西條の酒蔵はトラックに山積みで橋を渡った。後で聞くと



何でも  
 買える紙

「何でも買える紙ですかねえ?」「何でも買える紙じゃないの!」「私が無責任に言う」と「えっ!、ほんまですか?」「...」

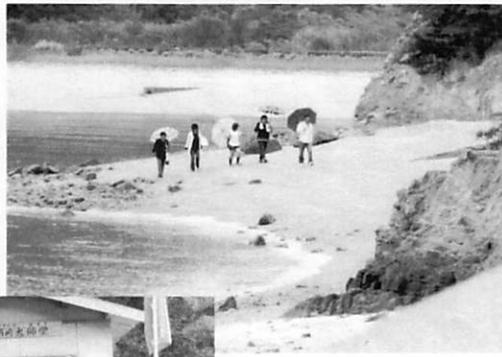
「今?、全然なし。年始早々、私服警官が「帳簿と配達伝票見せてください。」「はい。」「その筋の動きはない?」と尋ねるから「今どき候補者がそんな事はない。」そこで20年前の良き時代の話をした。「酒屋だけじゃない。菓子店もウグイス嬢への差し入れはゼロ。飲食店も出入りがなく閑古鳥が鳴いて何も動いてない!」「はいじゃ何も動いてないですかねえ?」「何でも買える紙じゃないの!」「私が無責任に言う」と「えっ!、ほんまですか?」「...」



## 町の総合計画こそ羅針盤だ

### 楽しみな新町建設計画

平成二十七年三月定例議会で「新町建設計画の変更について」という議案が上程されました。東日本大震災（平成二十三年三月一日）で被害を受けた合併市町村が合併特例債を利用してできる期限を五年延長する法律が施行されたのをうけ、同じように



平成27年佐島島四圍。第四五番 崎崎大師（岩屋寺）へお詣りする



## 議 員 活 動 録

(28) 議会議員 平山和昭

## 海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会（参加自由）  
（毎月25日13時～。生名中央公民館2Fで開催）  
（13）

日本海員組合（現・全日本海員組合の前身）をつくった濱田國太郎は、我が町の旧・生名村の出身です。

4月の月例会には全日本海員組合愛媛支部の支部長、および執行委員の方が参加してくれました。ともに船員経験のある方々で、折しも春闘の最中。海員組合の賃上げ妥結についても解説があり、そうした実情に触れることで國太郎のことを考えるよい刺激をいただきました。

我が国はグローバル経済のなか様々な分野で国際競争力に苦しんでいるわけですが、海上運輸無くして貿易立国ニッポンはありえません。そうでありながら止めどのないコスト削減、効率化の要求は海運界にも及び、船員の待遇が犠牲になり、遂には船員の徹底的不足を来しているのが現状だと聞くと、コスト削減とは最後には人件費ゼロを目指す道。究極の合理化とは「働く人を駆逐すること」なのかと、あらためて現代経済の異様さに



気づかされるところです。

國太郎が船員時代、その過酷な労働環境における船員の待遇改善を思ったにしても、そこで働く人々が要らなくなるのが船会社の求める究極の合理化などとは考えなかつたに違いありません。人間は働くために仕事を求める。しかし仕事に見合う待遇、人間として尊厳を保てる労働環境、ただそれだけを愚直に求めたはずです。

昭和12年、日中戦争が勃発し、國太郎たちの興した海員組合も労働運動を取り巻く環境の激変に翻弄されることとなります。そして日本海員組合は、昭和15年9月25日、国家権力により強制的に解散させられました。それからのち昭和20年8月15日の終戦までに、実に多くの船員や船舶が戦時徴用され、戦争の犠牲者となってゆくことになるのです。

※「濱田國太郎を顕彰する会」では『海父・濱田國太郎-海員組合を創った男』（村上貞著）の貸し出しをします。☎事務方まで。090-8247-5279 上島町弓削にある「せとうち交流館」の書庫にもあります。

NPO 頼れるふるさとネット ★出よう会  
毎月第2、第3火曜日 午後1時から3時頃まで  
活動趣旨 家に籠もらない為の地区のお年寄り達の交流会。6月9日（やよみ亭）16日（土生集会所）  
お気軽にお声かけ下さい。0897-72-9188

合併した他の市町村でも合併特例債が使える期限（当初は合併から十年間）を五年延長する（平成三十一年まで）議案です。つまり元氣アップ計画の達成期限を五年延長することです。言うまでもなく市町村の総合計画は、その自治体が将来どこへ向かい、どういう自治体として運営を目指すかの指針であり目標です。法の特例はその後押し

## 出来レースではない 「町の在り方模 討協議会の設立」を進めたらどうだ

合併した他の市町村でも合併特例債が使える期限（当初は合併から十年間）を五年延長する（平成三十一年まで）議案です。つまり元氣アップ計画の達成期限を五年延長することです。言うまでもなく市町村の総合計画は、その自治体が将来どこへ向かい、どういう自治体として運営を目指すかの指針であり目標です。法の特例はその後押し

事なかれ主義とは、痛みを恐れ別の試みに挑戦しない姿勢です。事なかれ主義は、残念ながら議員にも見られます。その具体的な事例が、所期の収益を上げられないとして施設使用料の半減を申し出、町が了承した「離島体験滞在交流施設」通称「イランランド・シー・リゾート・フェスパ」の二七年度からの指定管理者指名に関する議案審議と、その結果にあらわれています。

町を見るかで評価は変わる。ご承知のように、フェスパの指定管理者は引き続き町内業者が決定しましたが、この度は公

事なかれ主義の蔓延か  
この戦略会議は上島町総合計画の軌道修正をするものとイコールなはずですが。相変わらずな架橋促進（岩城橋）や公共事業中心の施策でしのごうという姿勢なら、この町の在り方設計を外部の力（知見やノウハウ）を借りてでも進める気がまるでないことであり、いわゆる「事なかれ主義」そのものとなります。

募に他にも応募者がありました。応募者は町外業者で、昭和二年創業、資本金二億円。国内フードサービス業界第十六位、グループ全体での売上げ千三百億円。宿泊食事提供、施設維持の年間予算は一億五千万円です。仮に他の自治体での指定管理者業務の実績も豊富なこの事業者がフェスパの指定管理を引き受けたとしたら、町にとっては念願の企業誘致にもなることでした。ところが町（上島町の公の施設の指定管理者選定審議会）は、そのような捉え方はしていませんでした。

## 映画研究会 やよみ亭 5月15日（金）夜7時～無料



【誰も守ってくれない】  
●犯罪疑者の家族を、理不尽に追い詰めてゆく警察とマスコミの姿  
監督：君塚良一 出演：佐藤浩市  
志田未来 松田龍平ほか